

を可とす。固より空氣の稀薄は、呼吸を促迫して、濶歩急行を許さずと雖も、若し血氣に任すれば亦爲し能はざるに非ざるべし。現に同行せし新疆土人の二少年中一はエンギ嶺、一は喀喇崑崙嶺超過の際、少しく急行したる結果、即時大熱を發生し既に危篤に瀕したりしも、幸ひ予が持藥其効を奏して、纔にレーに着するを得たり。

騎行せば一に馬の進止に任せ、決して鞭を加ふべからず。歩行せば病人の想を爲して成し得る限り徐歩すべし。呼吸一層迫り、動悸一層高ぶり來れば、既に高山病に犯されたるものなるや未だ知るべからざるも、動悸一たび高ぶれば、容易に沈靜に復せず。其の沈靜に至らざれば、即ち既に高山病に犯され居るなり。歩行に就ての注意は、以上の如くなるも、尙ほ更に注意に注意を要すべきは物に動せざることとす。凡そ物に動するときには直に動悸を高ぶらしむ。故に斯の如き際は場所の如何を顧るの違あらず、直に其の處に座し或は伏臥し、勉めて沈靜を保つべし。

高く路は峻しく、一步つゝ固く足を定めて敢て歩を移すも、其れすら動もすれば顛倒せんとするは一般山道の状態なれば、此際特に注意して躓かず、轉ばず、所謂物に動せざるこそ肝要なれ。